

## 第1回 伊勢市特別支援教育推進会議 報告

開催日時 令和7年7月25日 14:00～

場所 小俣総合支所大研修室

### 1 会議での報告内容 概要

- (1) 伊勢市特別支援教育推進事業について
- (2) 令和7年度伊勢市の特別支援教育に関する取組について
  - ①伊勢市特別支援教育コーディネーター会議について
  - ②個別の教育支援計画について
  - ③巡回相談について
  - ④授業のユニバーサルデザイン化推進事業について
  - ⑤学習支援員研修及びオリエンテーションの紹介
  - ⑥研修会の開催について
  - ⑦副次的な籍の導入に向けて
- (3) 各課との連携について

### 2 委員からの意見まとめ

- ・巡回相談では、支援が必要な園児・児童について実際の様子を見ながら具体的な支援方法を助言してもらうことに加え、中学卒業後の進路についても相談でき、先への見通しをもつことができる。
- ・中学から高校へ進学するときに、しっかりとした学びや支援の引継ぎが必要である。個別の教育支援計画や指導計画を引き継ぐだけではなく、実際に話す場をもって引継ぎを行っていくことが必要ではないか。
- ・園から小学校、小学校から中学校、中学校から高校へと児童生徒が入学・進学時に見学等をして、安心できる場所であること、自分の場所であると思えるような準備をしておくことが必要である。先生方がタブレットで写真をや動画をとって教室の様子、動線、トイレの様子など示し、その後、実際に見学を行うというケースもある。
- ・医療的ケアが必要な園児・児童生徒について看護師の確保や、保育士の不足が課題となっている。
- ・高校の通級指導では、生徒の学びにつながるように、通級生徒をどのようにつくるか検討したり、保護者会を開いたりしながら丁寧に行っている。
- ・副次的な籍の導入については、児童生徒や保護者の思いを大切にする必要がある。モデル校では、副籍校に籍があることで、この教室の生徒であるという意識が周りの生徒にうまれたり、「次はいつくるの？」というような声が聞かれたりした。
- ・療育手帳が期限切れとなっているようなケースがあった。いつ期限が切れるか、ハガキ等で連絡がくるとそのようなケースを防ぐことができるのではないか。
- ・パーソナルファイルが高校卒業後に、企業や社会へつながっていくものになるとよい。そのために、園・小・中の頃からしっかりとつなげていく必要がある。また、パーソナ

ルファイルを通して合理的配慮がどのように行われてきたかわかるよう記載すべきである。

### **3 次回会議の予定と主な内容**

日時 令和8年2月上旬 （日時について今後調整）

主な内容 令和7年度特別支援教育の取組、今後の伊勢市の特別支援教育推進について